



環境経営レポート



株式会社リペア



® 環境省

エコアクション21

認証番号 0004778

2024 年度

【2024 年 9 月～2025 年 8 月】

作成日 2025 年 11 月 11 日

改定日 2025 年 12 月 26 日

目次

1	事業概要	
	【1】 事業者名及び代表者名	P1
	【2】 所在地	P1
	【3】 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	P1
	【4】 事業内容	P1
	【5】 事業規模	P1
	【6】 認証・登録事業範囲	P2
	【7】 許可の概要	P2
	【8】 所有車両	P2
	【9】 機器・設備	P3
	【10】 受託した産業廃棄物量の今年度までの現状	P3
	①受託した廃棄物収集運搬量	P3
	②金属くずの取扱量	P3
	【11】 取扱い廃棄物の種類と処理フロー図	P3
	【12】 EA推進体制図	P4
2	環境経営方針	P5
3	環境経営目標	P6
4	環境経営計画（中期計画含む）及び取り組み結果及び 評価と次年度への取り組み	P7
5	環境経営目標の実績及び評価	P8 P9
6	環境関連法規制の遵守	P9
7	代表者による全体の評価と見直し及び指示	P10

1. 事業概要

【1】◆事業者名及び代表者名◆



株式会社リペア

昭和 56 年 9 月 10 日設立

代表取締役 植田慎一郎

【2】◆所在地◆

本社 〒702-8002

岡山県岡山市中区桑野 480-10

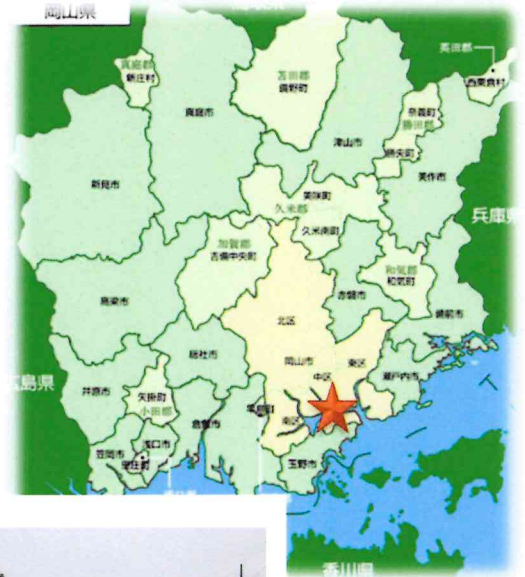
【3】◆環境保全関係の責任者及び担当者連絡先◆

責任者 環境管理責任者 (植田 慎一郎)

担当者 環境管理事務局 (植田 由美)

連絡先 TEL 086-274-1488

E-mail repair.s-u@ce.wakwak.com



【4】◆事業内容◆

再生資源物及び廃棄物の収集運搬業

(積替え保管あり)

積替保管施設 面積 72.6㎡ 保管上限 97 m³



【5】◆事業の規模◆

資本金 1,000 万円

事業年度 9月1日~8月末日

売上高 売上高区分A, 5億円未満(第44期 2024.9.1~2025.8.31 実績)

従業員数 4名(うち1名は他社出向の為、EA21対象人は3名)

事業所延床面積 1,421.18㎡

【6】◆認証・登録事業範囲◆

- 1.事業所 株式会社リペア
 対象事業者所在地 〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野 480-10
 対象事業所 本社
 2.事業活動 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、金属屑商

【7】◆許可の概要◆

■産業廃棄物収集運搬業許可■

	許可番号	許可年月日 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	産業廃棄物処理物
岡山市 積替保管有	8310012452	R6.1.31 R11.1.30	●	●	●	●		●					●	●	●		●				
岡山県	3301012452	R6.1.31 R11.1.30	●	●	●	●		●					●	●	●		●				
兵庫県	2804012452	R3.1.22 R8.1.21					●	●	●					●	●		●				

■一般廃棄物収集運搬業許可■

- ・岡山市 第4003号 許可年月日 令和 6年4月1日
 有効期限 令和 8年3月31日

■金属屑取扱業許可■

- ・岡山県 185 許可年月日 昭和57年3月30日

■古物商許可■

- ・岡山県 7211300008904 許可年月日 昭和57年3月30日

■計量証明事業登録■

- ・岡山県 第2-0154号 登録年月日 平成20年3月6日

【8】◆所有車両

- 収集運搬車両 脱着装置付コンテナ専用車 …2台
 塵芥車 …1台
 2.5tフォークリフト …1台
 営業車 …1台

【9】◆機器・設備◆

- ・エネルギー分散型蛍光X線分析装置 EDX-900HS …1台
- ・携帯型金属成分分析計 XLt-898SW …1台
- ・貴金属テスター GK-2000 …1台
- ・40tトラックスケール …1基

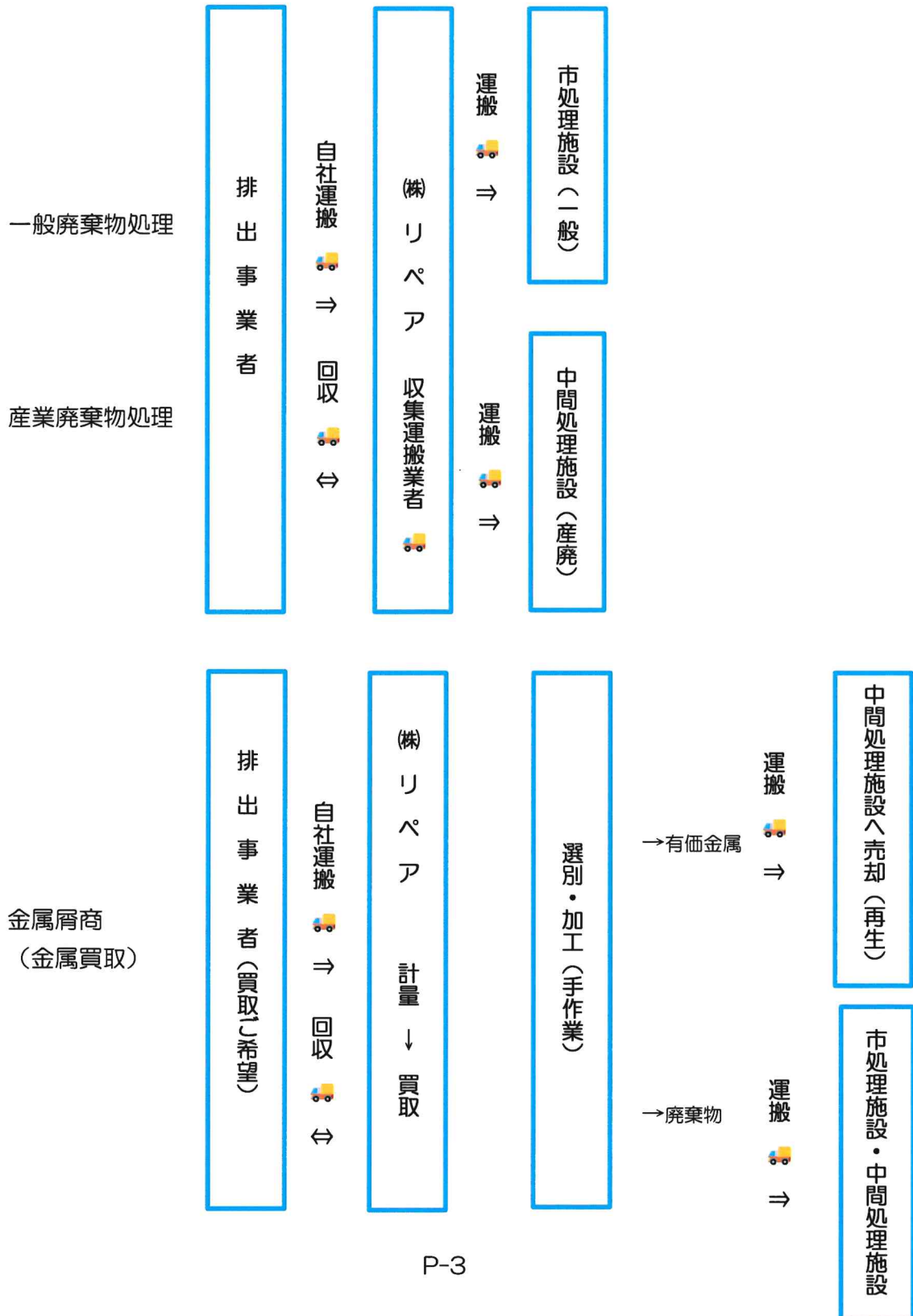
【10】受託した廃棄物の処理量の今年度の現状

① 受託した廃棄物収集運搬量

一般廃棄物収集運搬量(t)	産業廃棄物収集運搬量(t)
93.43	306.59

② 金属屑の取扱量 113.42 kg


【11】取扱い廃棄物の種類と処理工程フロー図



【12】EA 推進体制図




統括責任者




- 環境管理責任者を任命する。
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源を準備する。(人、モノ、資金、情報)
- 環境経営方針を制定する。
- 環境経営システムの構築・実施に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する。
- 環境経営目標・環境経営活動計画及び環境経営レポートの承認をする。

環境管理責任者




- EA21の要求事項に適合したシステムを構築し、維持を確立する。
- 苦情・要望等の処理全般。
- 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施。
- 緊急事態の想定と対応手順書の制定及び訓練の実施。
- 環境経営目標及び環境経営活動計画の策定。
- 環境経営レポートの作成

EA事務局



- 事務局として環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する事務全般を行う。
- 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認をする。
- 教育・訓練計画の策定を実施する。
- 緊急事態の想定と訓練の記録及び対応手順書の改訂をする。
- 外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応。
- 環境文書及び記録の作成と管理をする。

各部門管理者



- 自己の管理範囲における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び責務を負い、パフォーマンスの向上を図る。
- 環境経営目標及び実施項目に対する問題点の是正を実施する。

2. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社リペアは、再生資源物及び廃棄物の収集運搬業者として、環境に配慮した収集運搬業務に心がけ、かつ再生資源物及び廃棄物のリサイクル推進活動を行い地球環境保全に配慮し、以下の環境行動方針を定め、全ての事業活動を通じてその実現に取り組みます。

【環境保全への行動方針】

1. 環境負荷低減のために環境循環に配慮した事業活動に努めます。
 - ①、②を重点分野として取り組みます。
 - ① 収集運搬車両の燃料消費量の削減
 - ② 金属くずの再生量の拡大
 - ③ 電力使用量の削減
 - ④ 廃棄物排出事業者に対しての分別及びリサイクルの推進・情報提供
 - ⑤ 水資源使用量の削減
2. 環境保全に関する上記取り組み項目について目的・目標を設定し、結果を点検・評価し、環境マネジメントシステムの継続改善に努めます。
3. 環境関連法規を遵守します。

制定日：2009年8月10日

改訂日：2021年12月20日

株式会社リペア

代表取締役 植田 慎一郎

3. 環境経営目標

2021年度（基準年度）より毎年1%ずつ削減、中長期目標として基準年度より4年で4%の削減を目指します。

収集運搬に伴う環境負荷も低減の取り組みとして収集運搬車両の燃費の向上に努めます。

				目 標				削減目標
				中長期目標				
				基準年度 2021年度実績 (2021.9~2022.8)	2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (3%削減)	
二酸化炭素 排出量の削減	電力	使用量 (kWh)	10,841	10,733	10,624	10,516	10,407	2021年度比 3%削減
	ガソリン	使用量 (ℓ)	2,994	2,964	2,934	2,904	2,874	
	軽油	使用量 (ℓ)	2,576	2,550	2,524	2,499	2,473	
		収集運搬車両 燃費 (km/ℓ)	2669 6tタイプ 1885 3t 906 パッカー	1.54	1.56	1.57	1.59	
	灯油	使用量 (ℓ)	—	—	192.0	190.1	188.2	2022年度実績比 2%削減
一般廃棄物排出量の削減 (kg)			109.9	108.8	107.7	106.6	105.5	2023年度実績比 1%削減
水使用量の削減 (m3)			29.5	29.2	28.9	28.6	28.3	2021年度比 3%削減

*中長期計画内の購入電力のCO2排出係数は2021年度値で固定します。

*購入電力量からのCO2排出係数は0.521kg-CO2/kWhを使用しました。

*弊社では化学物質の使用はありません。

4. 環境経営計画（中期計画含む）及び取り組み結果及び評価と次年度への取り組み

環境経営目標		責任者	達成手段		評価	次年度への取組
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量 の削減	八代	事務所・作業場 休憩室	空調温度設定を（夏季26℃季20℃）を心がける（事務所）	○	継続
				不要時の照明器具の消灯		
				エアコンの定期清掃		
	自動車燃料 の削減	植田慎	ガソリン (営業車両)	・運行コースの見直し	○	継続
				・アイドリング・急加速・急停車の禁止		
・燃料使用量のデータの記録（燃費管理）						
自動車燃料 の削減	植田慎	軽油 (収集運搬車両)	・運行コースの見直し	○	継続	
			・アイドリング・急加速・急停車の禁止			
自動車燃料 の削減	植田慎	低燃費車への 切り替え	・燃料使用量のデータの記録（燃費管理）	○	継続	
			・車両点検			
廃棄物量の削減 (リサイクル率の向上)	植田慎	/	・車両更新時にエコ車を購入	○	継続	
			・廃棄物の搬入品チェック	○	継続	
			・一般廃棄物の排出量	○	継続	
水使用量の削減	八代	/	・排出者への分別の提案・弊社での分別指示	○	継続	
			・毎日の手洗い等の節水	○	継続	
社会貢献	植田由	/	・洗車水の節水	○	継続	
			・会社周辺の側溝掃除	○	継続	
社会貢献	植田由	/	・会社周辺の草取り・ゴミ拾い	○	継続	
			・会社周辺の草取り・ゴミ拾い	○	継続	

○・・・目標達成
×・・・目標未達

5. 環境経営目標の実績及び評価

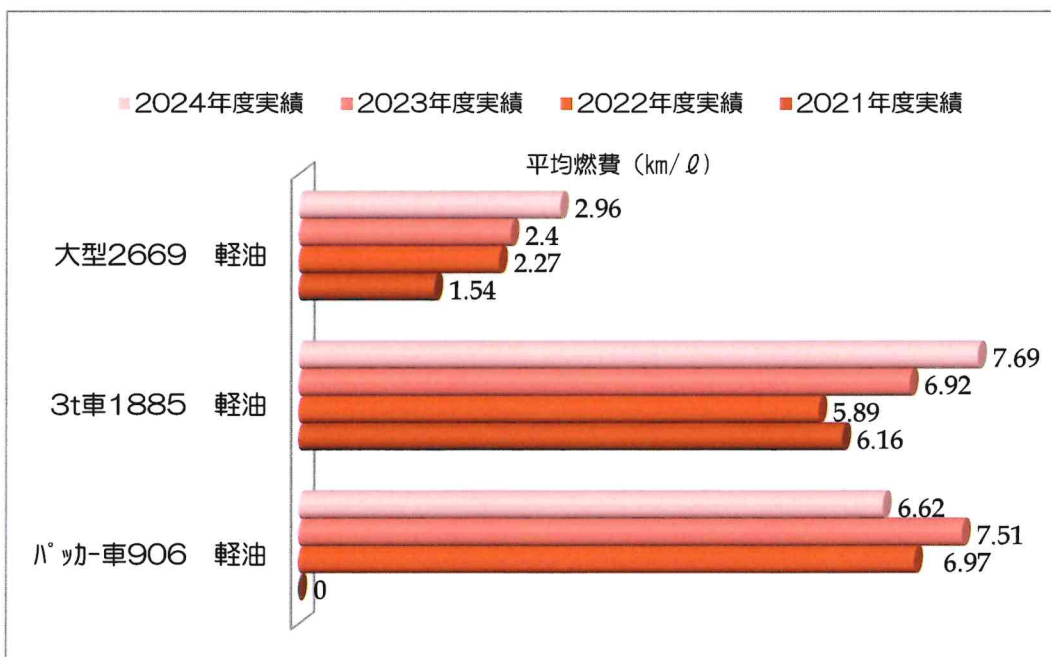
【1】目標達成状況

購入電力のCO2排出係数の実績値は2022年度調整後排出係数 0.521 kg-CO2/kWh を使用

環境負荷項目	単位	2024年度目標	2024年度実績	達成状況	評価のコメント
CO2総排出量	kg-CO2		15,327		
電力	kWh	10,516	9,331	○	冬季の使用量が減少している 電気ストーブから灯油ストーブに変更した影響
ガソリン	L	2,904	1,039	○	目標値からは大幅に減少 前年度から社用車通勤→JR通勤に変更したことによる。前年度実績からは横ばい
軽油	L	2,499	2,851	×	走行距離が目標設定時より増えている。前年度からは4%減
灯油	L	190.0	280.0	×	作業場の電気ストーブから灯油ストーブに変更してから冬季はフル稼働
一般廃棄物	kg	106.6	149.8	×	本・雑誌の処分で重量が増加。すべて再資源化して処分しているのでも問題ないといえます
水	m ³	28.6	12.0	○	前年度同様金属を加工する段階で水を使用していたがその金属の入荷がストップになっているので目標値よりは大幅に減少している

【2】収集運搬車両の燃料使用量の把握

各収集運搬車両の走行距離・給油量のデータに基づき燃費の調査をしました。



	2024年度 目標 (km/ℓ)	2024年度 実績 年間走行距離÷年間給油量 (km/ℓ)	達成率 実績値÷目標値 ×100	達成状況
大型2669	1.59	3,807km÷1,286ℓ = 2.96 km/ℓ	186.16%	○
3t車1885	6.34	3,267km÷425ℓ = 7.69 km/ℓ	121.29%	○
パッカー車906	6.81	7,550km÷1,140ℓ = 6.62 km/ℓ	97.21%	×

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

関連法規名称	遵守事項		遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業 岡山市第4003号	一般廃棄物実務管理者講習 受講	○
		収集・運搬業の許可の更新	○
		収集運搬車両への表示	○
		収集・運搬の基準の遵守	○
		一般廃棄物状況報告書	○
	産業廃棄物収集運搬業 岡山市 第8310012452号 岡山県 第3301012452号 兵庫県 第2804012452号	産業廃棄物収集・運搬更新 受講	○
		収集・運搬業の許可の更新	○
		収集・運搬車両への表示・書面備え付け	○
		収集・運搬管理帳簿の作成・保存・報告	○
		産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出	○
		廃棄物の積み替え保管場所の管理・掲示板の表示	○
		マニフェストの管理	○
		客先との委託契約書の管理	○
処分状況の現地確認（努力義務）	○		
計量法	主任計量者講習	○	
	計量器の定期点検	○	
	計量証明事業者報告書の提出	○	
道路交通法	交通ルールの厳守	○	
消防法	火災の予防 消火器の定期点検	○	
家電リサイクル法	特定4品目（TV、エアコン、冷蔵庫、洗濯機）の廃棄時の適切な処分	該当なし	
プラスチック資源循環促進法	努力義務：プラスチック使用製品廃棄物排出者に、分別の基準に従うよう必要な措置を講ずる	○	

2024年度の環境関連法規遵守状況の確認において環境関連法規への違反はありません。

2. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去5年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し及び指示

①見直しに必要な情報

2025年10月31日

	項目	評価・コメント
1	環境経営目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量の削減【目標達成】 二酸化炭素排出量に係る電気使用量が目標値より11%削減、ガソリン使用量が65%削減と大きく目標は達成できたが、軽油使用量は14%増加、灯油使用量は47%増加で未達成となった。燃費の向上については、パッカー車以外は目標値及び前年度より向上していました。あまり稼働していないトラックは売却済。今後も無駄をなくし、小さなところからもCO2排出抑制を念頭におき、事業活動していきます。 ・一般廃棄物の削減【目標未達成】 分別は徹底できていますので今後も抑制に努めます。 ・水使用量の削減【達成】 節水活動が十分できています。冬季の水道管凍結等、引き続き管理に取り組みます。
2	環境経営計画の実施及び運用結果	全体的に計画通り達成できています。
3	環境法令等の遵守結果	環境法令等は遵守できています。
4	外部からの環境に関する苦情や要望等	外部からの苦情・要望は今年度はありません。

②変更の必要性

	項目	変更の必要性		変更ありの場合の指示事項
		あり	なし	
1	環境経営方針		○	
2	環境経営目標		○	
3	環境経営計画		○	
4	実施体制		○	
5	環境経営システム		○	

③総括

エコアクション21認証・登録から15年を迎えました。今年度もほぼ環境経営目標を達成することができました。エコアクション21の取り組みにより、環境経営活動の見直しをすることが業務の改善にもつながることを実感しております。微力であっても日々の積み重ねが地球環境の保全につながるという思いを今後も持ち続け、社員に周知し、一丸となり努力してまいります。